



テクノス通信



2月
vol.93
2017

今月のテーマ 離床センサーに関するアンケート実施！

医療の質安全学会の弊社ブースに訪問された、リスクマネージャーや医療安全管理者、看護部長・師長に対しアンケートを実施したところ、全58病院67人より回答をいただきました。

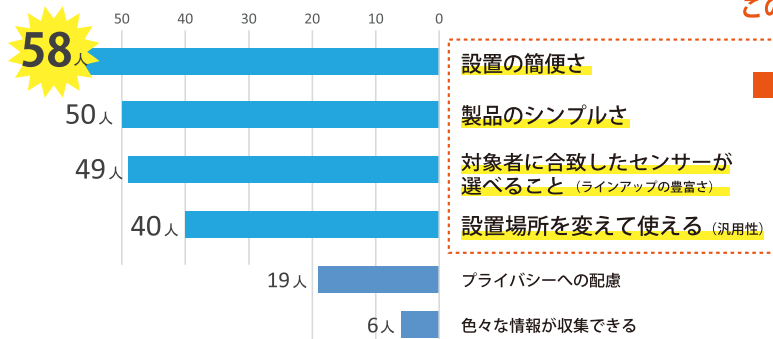
Q 転倒・転落について

- ①対策が必要な患者様が増えてきたと感じますか？
- ②患者様の高齢化が進む中、対策が必要な人は増え続けると思いますか？

A 両方に「はい」と回答

98.5% (66/67人)

Q 『離床センサー』に求めることは？（複数回答可）



このことから・・・

離床センサーは、いざ使用する時にスムーズに設置できる**設置の簡便さ**や**製品のシンプルさ**が求められます。

また、対象者や環境に応じた製品が選べるため、ラインアップの豊富さや設置場所を選ばない汎用性がある製品が求められています！

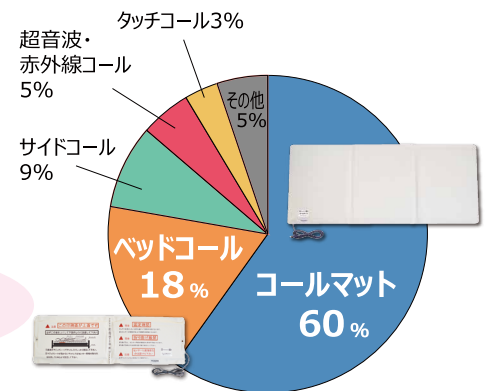
■ 離床センサーの人気No.1は？

テクノスジャパンの離床センサーは、床敷きタイプの「コールマット」が出荷台数の半数以上を占めています。設定不要のシンプルな設計、直感的に設置ができることが人気の理由で、多くの病院様、施設様より高い評価をいただいています。

また、起き上がりを報知する「ベッドコール」は、シーツやベッドパッドの下にセンサーを設置するので対象者に気づかれにくく、寝返りでの誤作動が少ないのでコールマットに次ぐ人気製品です。



【ナースコール連動離床センサー出荷割合】



■ 離床センサーの種類は？

離床センサーの種類は12種類！

報知方法の組み合わせ次第で約100製品になります。対象者や環境に合ったセンサーをお選びいただけます。

また、テクノスジャパンでは離床センサーの正しい使い方や運用上の工夫などをご紹介する離床センサーワークショップ（無料）を行っていますので、お気軽にお問合せください。

【センサーの種類】

コールマット	ベッドコール	サイドコール	超音波・赤外線コール	タッチコール	介助バーコール
マットを踏むと報知する	上体を起こすと報知する	ベッドの端に寄ると報知する	赤外線で動きをキャッチ	ベッド柵を握ると報知する	介助バーを握ると報知する
座コール	トイレコール	柵コール	徘徊ナビ	徘徊ナビ・名札	ドアコール
車イスから立つと報知する	便座から腰を浮かせると報知する	ベッド柵を引き抜くと報知する	出入口等に近づくと報知	出入口等に近づくと報知	ドアを開けた時に報知